

# 箱根湿生花園の 花だより

2018年10月1日 発行



**アサマフウロ**  
「浅間風露」(フウロソウ科)  
本州(中部地方)の湿った  
草地に生える多年草。茎に  
下向きの庄毛がある。花は  
濃紅紫色。フウロソウの仲  
間では、花が大きく色も濃  
い。

箱根仙石原の朝晩は、秋らしく冷え込むようになり、台ヶ岳の仙石原すすき草原でも黄金色のススキが楽しめるようになってきました。園内もだいぶ秋らしくなり、植生復元区の湿原では、ウメバチソウの小さな花が咲いています。また、園内特設会場では、美しい秋の山野草を展示する「秋の山野草と木の実草の実展」を開催中です。開園時間を1時間延長して園内をライトアップする「ナイトパーク」は、10月からスタートします!



『秋の山野草と木の実草の実展』 9/24(月)～11/11(日)  
ホトトギスやリンドウなど秋の野山を彩る可憐な植物を約80種800株展示します。売店ではダイモンジソウなど秋の山野草を販売しています。

『箱根湿生花園ナイトパーク』 10/1(月)～11/30(金) 16:30～18:00  
上記期間は、園内をライトアップし、開園時間を1時間延長して営業します。美しくライトアップされた園内をご家族やカップルでお楽しみいただけます。16:30以降入園のお客様は、夜間特別料金500円(最終入園17:30)となります。



## Pick Up ウメバチソウ 「梅鉢草」ユキノシタ科

ウメバチソウは、北海道～九州の山野の明るく湿った草原に生える多年草です。和名は、天満宮の御紋でもある梅鉢紋に花の形が似ることから名付けられました。細かく枝分かれている雄しべに見えるものは、花粉を持たない“飾り雄しべ”で、実際の雄しべは、中心に5本あり、1本ずつ順番に展開していきます(写真ではまだ1本も展開していない状態です)。

園内では植生復元区の木道沿いで多く見ることができ、複雑な花の構造を間近で観察してみてください。現在開催中の「秋の山野草と木の実草の実展」では、ウメバチソウの変種である「イズノシマウメバチソウ」や「ヤクシマウメバチソウ」も展示しています。こちらも是非ご覧ください。



## マツムシソウ

「松虫草」(マツムシソウ科)  
北海道～九州の山地の草原に生える越  
年草。名前の由来は諸説あるが、秋、  
マツムシが鳴くころに開花するからと  
いわれている。花が咲き終わった後は、  
特異な形の実も観察できる。



## File 12 アカタテハ 鱗翅目 タテハチョウ科

今回は秋らしい色のチョウ、アカタテハをご紹介します。アカタテハは明るい草地を好むチョウで、タテハチョウの中でも比較的身近な種類です。分布は日本全土と広く、園内ではアザミ類やマツムシソウなどの花で、吸蜜している姿をよく見かけます。年に数回発生するピークがありますが、最後の羽化のピークが秋に重なるため、気温が下がり他のチョウが少なくなるこの時期にまるで紅葉したかのような綺麗な色の個体を観察することができます。驚くことに、この時期に生まれるアカタテハなどのタテハチョウの仲間は、成虫のまま冬を越して翌春に産卵します。越冬するためには冬を越すための十分な栄養を取らなければなりません。吸蜜をしていたら、邪魔しないでそっと見守ってあげてください。



## Botanical Gallery



**タニジャコウソウ**  
本州(関東地方以西)～九州の山地の谷間に生える多年草。ジャコウソウに似るが花冠は小さく、花柄が長いという特徴がある。



**ホトトギス**  
北海道～九州の山地のやや湿ったところに生える多年草。名前の由来は、花の斑点を鳥のホトトギスの胸にある模様に見立てたことから。



**シモバシラ**  
本州(関東地方以西)～九州の山地の木陰に生える多年草。名前の由来は、初冬に根もとから霜柱のような氷柱が立つことから。



**ノコンギク**  
本州～九州の山野のいたるところに普通に見られる多年草。地下茎を伸ばしてふえる。野菊の代表種。



**マアザミ**  
本州～九州の湿地に生える多年草。名前の由来は、食用になる本当のアザミということから。別名キセルアザミ。



**ヤマトリカブト**  
本州(中部地方以北)の山地の林内や林縁などに生える多年草。有毒植物として有名。箱根にも自生する。



## ススキ「薄・芒」(イネ科)

日本全土の山野の生える高さ1～2mの大型になる多年草。秋の七草のひとつ。植生復元区からは、仙石原すすき草原を眺めることができます。仙石すすき草原は「かながわの景勝50選」に選ばれています。

## ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園16:30)  
大人(中学生以上)700円 小人(小学生)400円

## アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>